

平成23年度

事業報告書

公益財団法人エイズ予防財団

I 事業部門

1 寄付金等による事業

(1) ACジャパン支援広告（公1・普及啓発事業）

- ・支援のテーマ：「HIV検査促進」（平成23年度テーマ「断言できない」）
- ・支援の期間：平成23年7月1日～平成24年6月30日
- ・支援広報内容：テレビ・ラジオの電波媒体、新聞・雑誌の活字媒体、首都圏のJR・私鉄・地下鉄の交通広告（中吊り、駅構内の大型ポスター掲示）、中京地区の交通広告（中吊り）、街頭オーロラビジョン、全国の映画館（約20館）のCM、全国の教習所映像モニターなど。放映料、掲載料などは媒体側の社会貢献活動の一環としてすべて無料である。そのため放映・掲載時期、回数などは決めることができないデメリットもあった。

(2) レッドリボンシアターの開催（公1・普及啓発事業）

メットライフアリコ全国代理店会連合会の協力を得て、レッドリボンシアターを開催し、演劇、朗読、講座によりHIV予防啓発を呼びかけた。

また、当日の様様をDVDにし、希望するものに配付した。

- ・開催日：平成23年10月30日(日)
- ・開催場所：北沢タウンホール（東京都世田谷区）
- ・内容：朗読 奥田瑛二「感染宣告」、朗読 松田美由紀「神様がくれたHIV」
講座「浅草キッドのHIV/AIDSまるわかり教室」
芝居 劇26.25団「僕と彼女に真実を」
- ・来場者数：235名（Ustreamによるライブ配信で9,500名が視聴）

(3) 地域イベント等の普及啓発と募金活動（公1・普及啓発事業）

地域で行われているイベント等にブースを設置し、パンフレット等の配布を行い、併せて募金活動を実施した。

「水戸神輿祭り」（茨城県水戸市、8月）／「24時間テレビ」（パラダイステレビ）／「12th アール・エスポワールチャリティ美術展」（世田谷キャロットタワー、12月）／「浜松オートレース場」（静岡県浜松市、11～12月）／「ハートアートコミュニケーション・エイズチャリティ美術展」（国立新美術館、1～2月）／「第18回プライベートフットボール全日本選手権大会」（川崎球場、2月）ほか

(4) コミュニティアクション2011 (公1・普及啓発事業)

「世界エイズデー」キャンペーンテーマと統一したコンセプトのもとで、厚生労働省や地方自治体のキャンペーンと協調しつつ、同時並行的に進めるコミュニティ主導のキャンペーンを行った。具体的には、「エイズとわたし つながるコミュニティ」をテーマに展開し、公式サイトを10月1日に開設した。

<http://www.ca-aids.jp/>

実施期間：平成23年11月15日（火）～12月31日（土）

実施内容：1. 共通課題による全国的なエイズイベント開催の促進

2. 全国のエイズイベントの情報集約と広報支援

・ コミュニティアクション報告会（参加者 13人）

日 時：平成24年1月18日（水）18時30分～20時00分

場 所：ねぎし内科診療所（東京都）

(5) ティーンエイジャー支援事業 (公2・助成事業)

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社からの寄付を受けて、高校生・中学生を中心とするティーンエイジャーを対象としたHIV／エイズ予防啓発活動への資金助成を平成20年度より3年間実施した。事業終了に際し、まとめとして、冊子「若者とエイズ予防 啓発 その実際と活動支援について～プログラムを育てるということ～」を200部作成し、関係機関に配布した。

(6) 助成金の交付 (公2・助成事業)

エイズ対策に関する募金活動、チャリティ事業及び個人の寄付等の金銭的支援の受け皿として設置された日本エイズストップ基金を運営し、助成金の交付を行った。助成先・助成額（計22件 7,700,000円）は以下のとおりである。なお、AIDS文化フォーラム in 横浜組織委員会に対し200,000円の助成を決定したが、公的助成が得られたとの理由により辞退の申し出があった。

日本エイズストップ基金の名称を冠した助成金交付は今年度をもって終了することとした。

① エイズ患者・HIV感染者に対する社会的支援事業

1	NPO法人動くゲイとレズビアンのかい（アカー）	350,000円
2	HIV陽性者参加支援スカラシップ委員会	350,000円
3	ライフ・エイズ・プロジェクト（LAP）	350,000円

4	LIFE東海	350,000円
5	NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス	350,000円
6	沖縄県臨床心理士会	350,000円

② エイズ患者・HIV感染者等に対する電話相談事業

7	NPO法人AIDSネットワーク横浜	350,000円
8	せかんどかみんぐあうと	350,000円
9	NPO法人りょうちゃんず	350,000円
10	エイズ・ワーカーズ・福岡	350,000円

③ エイズ予防啓発事業

11	NPO法人現代美術研究会	350,000円
12	社団法人広島県臨床検査技師会	350,000円
13	NPO法人魅惑的倶楽部	350,000円
14	AIDS文化フォーラム in 京都	350,000円
15	NPO法人HIV人権ネットワーク沖縄	350,000円
16	早稲田大学公認イベント企画サークルqoon	350,000円
17	wAds2011実行委員会	350,000円
18	NPO法人えんばわめんと堺/ES	350,000円
19	神奈川・エイズ教育実践研究会	350,000円
20	小諸佐久HIV診療ネットワーク研究会	350,000円
21	世界エイズデー in NAGOYA	350,000円
22	HaaTえひめ (ハートエヒメ)	350,000円
※	AIDS文化フォーラム in 横浜組織委員会	(200,000円)

(7) 大阪HIV検査センター支援事業 (公5・相談事業)

ブリストル・マイヤーズ株式会社からの寄付金及び米国ブリストル・マイヤーズ・スクイブ基金からの助成金を受けて、昨年度に引き続きこの施設において、①教育啓発（ア 若者を対象としたHIV/HBV教育啓発事業、イ 啓発資材「受けましょう！HIV検査、受けましょう！B型肝炎検査」の制作及び配布、ウ HIV検査普及週間及び世界エイズデーでの街頭キャンペーン）、②カウンセリング（対象：HIV感染者・B型肝炎患者及びそのパートナーや家族）、③研修（ア chot CASTなんばでの各種研修、イ 大阪府内の保健師及び担当者向け研修）のプログラムをNGO等とともに実施した。

なお、平成23年4月から同センターは検査センターとコミュニティセンターとして分割

され、大阪府・大阪市が検査センターを、厚生労働省からの受託者がコミュニティセンターを運営し、2つの施設を合わせて大阪検査相談・啓発・支援センターとして継続して運営されている。

(大阪府・大阪市の検査センターでのHIV検査実績)

- ・検査日：週4回（日曜、火曜、木曜、土曜）※平成23年4月は工事により一時休止
- ・平成23年度検査実施日数：183日
- ・HIV検査受検者数：5,209人（うちHIV陽性者数31人）

(8) 国際協力事業（公6・国際協力事業）

①ASAP（アジア太平洋エイズ学会）の団体会員

内 容：ASAP（アジア太平洋エイズ学会）への団体会員としての関わりを継続した。

②第10回アジア太平洋地域エイズ国際会議（釜山）でのブース出展

実施日：平成23年8月26日（金）～30日（火）

内 容：会議会場内にブースを出展し、わが国のHIV感染症／エイズの現状とその対策、NPO・NGO等の活動の取り組み等の情報発信を行った。

③UNAIDS親善大使ジェームズ・チャウ氏との懇談

実施日：平成23年10月25日（火）

内 容：中国の国際派若手ジャーナリストであり、UNAIDS親善大使のジェームズ・チャウ氏と日本のコミュニティ関係者とのaktaにおける懇談会に出席

同席者：宮田一雄理事、NGO関係者他

④UNDP担当者との打合せ

実施日：平成23年11月22日（火）

出席者：UNDP クリフトン・コルテス氏、ウジ・カズユキ氏

内 容：UNDPによるアジア地域のMSMプログラムに関する情報共有

同席者：宮田一雄理事

2 エイズ予防対策事業（厚生労働省委託事業）

(1) 血液凝固異常症実態調査事業（公4・調査研究事業）

血液製剤を通じてHIVに感染した血友病患者を中心に血液凝固異常症の病態を把握し、治療の向上と生活の質の向上に寄与することを目的として、血液凝固異常症患者を治療している全国の医療機関で調査を実施した（平成23年度は1,222施設、1,374担当医等に

調査票を送付し、660施設、742担当医等から3,696の症例について回答あり）。

調査結果報告書は、回答のなかった医療機関を含め、すべての担当医及び患者等に提供し、フィードバックすることにより患者の治療とQOLの向上を図った。

なお、調査の精度及び専門性を確保するため、医療関係者及び患者で構成する全国調査運営委員会を設置して実施した（2回開催）。

委員：大平勝美（社会福祉法人はばたき福祉事業団理事長）／白幡聡（産業医科大学名誉教授）／瀧正志（聖マリアンナ医科大学小児科教授）／立浪忍（聖マリアンナ医科大学教育文化部門医学統計学分野准教授）／仁科豊（仁科・深道法律事務所弁護士）／花井十伍（大阪HIV訴訟原告団代表）／三間屋純一（静岡県熱海健康福祉センター所長兼熱海保健所所長）

（2）HIV感染者等保健福祉相談事業（公5・相談事業）

① エイズ治療中核拠点病院相談事業

エイズ治療中核拠点病院に相談員を配置し、HIV感染者・患者等への心理的援助を行った。

ア 配置医療機関（27機関）

大館市立総合病院／群馬大学医学部附属病院／都立駒込病院／東京慈恵会医科大学附属病院／新潟大学医歯学総合病院／富山県立中央病院／福井大学医学部附属病院／岐阜大学医学部附属病院／名古屋医療センター／三重大学医学部附属病院／滋賀医科大学医学部附属病院／京都大学医学部附属病院／市立堺病院／大阪市立総合医療センター／兵庫医科大学病院／奈良県立医科大学附属病院／鳥取大学医学部附属病院／島根大学医学部附属病院／高知大学医学部附属病院／産業医科大学病院／佐賀大学医学部附属病院／長崎大学病院／熊本大学医学部附属病院／宮崎県立宮崎病院／鹿児島大学医学部・歯学部附属病院／琉球大学医学部病院／香川大学医学部附属病院

イ 相談員連絡会議の開催

相談の精度確保及び均てん化を図るため、全国の相談員を一同に招集し、情報・意見交換を行うとともに、エイズ治療ブロック拠点病院のカウンセラーによる指導、講義・事例検討等を行った。

実施日：平成24年3月3日（土）～4日（日）

場 所：国立国際医療研究センター研究所会議室（東京都）

参加者：24人

② HIV検査・相談事業

HIV検査受検者数の拡大を図るため、休日や夜間など受検者の利便性に配慮した検査・相談を実施した。

ア 定期的なHIV検査の実施

大阪市（44回）受検者数442人

イ HIV検査普及週間や世界エイズデーに合わせた臨時HIV検査の実施

埼玉県（3回）114人、中野区（2回）160人、渋谷区（2回）117人、神奈川県（2回）16人、名古屋市（1回）15人、岐阜県（1回）24人、大阪市（2回）100人、広島市（2回）122人、福岡市（1回）17人、港区六本木（1回）12人

ウ 「HIV検査・相談窓口」における情報サービスの実施

全国の保健所等における検査日時や場所、予約の方法、電話相談等についての情報を収集した。収集した情報はAPI-Netを通じて提供した。

③ 専門相談員による電話相談

当財団内に電話相談室を設置し、専門相談員による電話相談を実施した（フリーダイヤルで、月曜から金曜までの毎日、午前10時から午後1時、午後2時から5時まで）。

平成23年度電話相談受付件数：9,297件

（3）エイズ治療拠点病院医療従事者海外実地研修事業（公2・助成事業）

エイズ治療の拠点病院における診療能力の向上及びHIV感染症／エイズ診療のリーダー的役割を担う人材の育成を図るため、エイズ診療の経験豊富な海外医療機関に医療従事者を派遣し、臨床実地研修を実施した。

① サンフランシスコ（医師等コース）

研修先：カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校

日 程：12月10日（土）～12月25日（日）

参加者：医師等（初・中級者）5人

② サンフランシスコ（看護師等コース）

研修先：カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校

日 程：10月29日（土）～11月13日（日）

参加者：看護師等5人

（4）エイズ治療拠点病院地域別病院長会議開催事業（公1・普及啓発事業）

エイズ治療拠点病院の整備状況、今後の拠点病院の在り方等について意見交換を実施

するため、厚生労働省で開催された「中央運営協議会」に合わせて、エイズ治療ブロック拠点病院長会議を開催した。

日 時：平成24年3月12日（月）16時30分～17時30分

場 所：法曹会館（東京都）

（5）HIV診療医師情報網支援事業（公1・普及啓発事業）

HIV感染症の臨床医等による交流等の連携を図るため各ブロックに設置された情報網に対し、必要な支援を行った。各情報網では、症例検討会や講演会の開催、ネットワーク紙の発行等のほか、今後の取り組みを共有するための会議を開催した。

支援先情報網（7カ所）

東北HIV診療支援ネット／HIV感染症の医療体制構築を目指すネットワーク（新潟）／東海ブロックエイズ診療拠点病院連絡協議会／北陸HIV臨床談話会／関西HIV臨床カンファレンス／岡山HIV診療ネットワーク／九州ブロックエイズ診療ネットワーク会議

（6）エイズ国際会議研究者等派遣事業（公2・助成事業）

わが国のエイズ対策の広範な充実、活性化を図ることを目的として、平成23年8月に開催された第10回アジア太平洋地域エイズ国際会議（釜山）に参加する研究者、NGO、医療従事者等の会議登録料、旅費等を助成した（派遣人数22人）。

（7）エイズ国際協力計画推進検討事業（公4・調査研究事業）

- ① 第10回アジア太平洋地域エイズ国際会議に職員を派遣し、アジア太平洋地域諸国のHIV感染症／エイズに関する情報収集及び第10回ICAAP事務局支援を行った。

訪問地：韓国・釜山市

日 程：平成23年8月25日（木）～31日（水）

- ② 個別施策層である性風俗産業の従事者及び利用者におけるHIV予防に関する調査を行うため、タイ・バンコク市で活動するNGO及び専門家を訪問し、目下、タイで注目されている性労働予防法（1996 Prostitution Prevention Law）の改廃の可能性や性風俗産業従事者への当時者団体の介入方法戦略について情報収集を行った。

訪問地：タイ・バンコク市

日 程：平成24年3月22日（木）～3月25日（日）

調査者：青山 薫（神戸大学国際文化学研究所）

要友紀子、八木かずみ (SWASH)

(8) エイズ予防情報センター事業 (公4・調査研究事業)

パソコンサイトによりエイズ予防情報ネット (API-Net) を運営し、HIV感染者・エイズ患者やその家族、一般国民、医療関係者等に対し、エイズに関する啓発情報、HIV検査情報、NGO活動情報等を提供した。特に、6月のHIV検査普及週間及び12月1日の世界エイズデーに際しては、各自治体で実施されるイベントや臨時HIV検査などについて情報収集し、特設ページにより公開した。年間のアクセス者数は187,706件であった。

(9) 青少年エイズ対策事業

① 学校教育におけるエイズ予防事業の実施 (公3・人材育成事業)

青少年を対象とする、科学的根拠に基づいたエイズ予防事業の実施を目的として保健所のエイズ対策担当者及び中学校・高等学校の教師 (保健室の養護教諭等) を対象とした研修会を実施した。

ア 保健所プロジェクト

実施日：平成23年7月13日 (水) ~14日 (木)

場 所：京都ガーデンパレス

参加者：64保健所75人

イ 保健室プロジェクト

中学校・高等学校用研修会

実施日：平成23年8月24日 (水)

場 所：京都大学百周年時計台記念館

参加校：28校 (中学校14校、高等学校14校)

参加者：37人 (中学校15人、高等学校20人、その他2人)

② 「世界エイズデー」ポスターコンクール (公1・普及啓発事業)

全国の小学校、中学校、高等学校の児童・生徒及び一般を対象に、HIV予防を呼びかけるポスターコンクールを実施し、受賞作品はAPI-Net (エイズ予防情報ネット) で公表するとともに、「世界エイズデー」イベント会場においてパネル展示した。

募集期間：平成23年6月20日 (月) ~9月8日 (木)

応募総数：491点

第1次審査会

日 時：平成23年9月20日（火）13時30分～16時30分

場 所：結核予防会会議室

結 果：第1次審査通過作品は491点中89点

本審査会

日 時：平成23年10月4日（火）14時00分～16時00分

場 所：結核予防会会議室

結 果：小・中・高・一般の各部門につき最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作3点を選考。また、最優秀賞作品（4点）中、1点を「世界エイズデー」啓発用ポスターとして選定

表彰式

日 時：平成23年11月18日（金）15時30分～16時00分

場 所：法曹会館（東京都）

(10) エイズ治療啓発普及事業（公1・普及啓発事業）

① エイズリポート

エイズ治療等に関する最新の情報を整理・提供する「エイズリポート」を作成し、自治体、エイズ治療拠点病院、研究者、NGO等に配布した。

発行日：平成24年3月（第90号）

発行部数：13,000部

② 「HIV検査普及週間」（6月1日～7日）の啓発普及事業

ア 街頭キャンペーンの実施

HIV検査普及週間の告知と保健所等でのHIV無料・匿名検査実施の告知を目的とし、自治体の協力を得て街頭キャンペーンを実施した。

日 時：平成23年6月1日（火）11時30分～13時30分

場 所：JR水道橋駅東口周辺

参加者：11人

配布物：予防啓発グッズ等1,000セット

イ ポスターの作成・配布

新規のデザインを使用した啓発用ポスターを作成し、各自治体等を通じて全国で掲示した（5,000部）。

ウ インターネット等による啓発と情報提供

HIV検査普及週間前後の期間に各自治体で実施されるイベントやHIV検査・相談の実施体制等について情報収集し、API-Netで公開した。

③ 「世界エイズデー」(12月1日)の啓発普及事業

ア 街頭キャンペーンの実施

世界エイズデーの告知と保健所等でのHIV無料・匿名検査実施の告知を目的とし、学生ボランティア等の協力を得て街頭キャンペーンを実施した。

(1) 東京での街頭キャンペーン

厚生労働省「代々木公園ケヤキ並木イベント」に合わせて実施

日 時：平成23年11月27日(日)10時00分～16時00分

場 所：代々木公園ケヤキ並木(東京都渋谷区)

参加者：30人

配布物：予防啓発グッズ・パンフレット3,000セット

(2) 福岡での街頭キャンペーン

「RED RIBBON LIVE 2011 in FUKUOKA」に合わせて実施

日 時：平成23年12月1日(日)13時00分～20時30分

場 所：キャナルシティ博多(福岡県福岡市)

参加者：16人

配布物：予防啓発グッズ・パンフレット2,000セット

イ ブース設置

(1) 「代々木公園ケヤキ並木イベント」での普及啓発ブース出展

日 時：平成23年11月27日(日)10時00分～16時00分

場 所：代々木公園ケヤキ並木(東京都渋谷区)

内 容：ACジャパン支援広告の紹介、ポスター展示、アンケート実施(回答数約220件)、MSMコミュニティセンターの紹介)

(2) 「RED RIBBON LIVE 2011」ブース設置

会場内にブースを設置して来場者への啓発を図るとともに、世界エイズデーポスターコンクールの入賞作品を展示した。

日 時：平成23年11月27日(日)17時30分～21時00分

場 所：SHIBUYA-AX(東京都渋谷区)

配布物：予防啓発グッズ・パンフレット700セット

ウ インターネット等による啓発と情報提供

世界エイズデー前後の期間に各自治体で実施されるイベントやHIV検査・相談の実施体制等について情報収集し、API-Netで公開した。

エ 世界エイズデー・キャンペーンテーマの策定・周知

世界エイズデー・キャンペーンテーマの決定プロセスにできるだけ多くの人に参与してもらうよう、API-Netによる意見募集、フォーラム「一緒にテーマを考えよう～」を開催、その後の関係者によるワーキンググループでの議論、ワーディングを経てキャンペーンテーマが策定された。テーマ決定後はチラシ20,000枚を作成し、自治体、拠点病院、NGO等に配布した。

・第1回フォーラム（参加者 20人）

日 時：平成23年6月14日（火） 19時00分～21時00分

場 所：コミュニティセンターakta（東京都）

・第2回フォーラム（参加者 16人）

日 時：平成23年6月21日（火） 19時00分～21時00分

場 所：コミュニティセンター dista（大阪）

④小冊子・リーフレット・啓発グッズの作成・提供

エイズ予防啓発のパンフレット・啓発グッズを作成し、自治体等からの要請に応じて提供した。

ア 啓発パンフレット

・「HIV/エイズの基礎知識」 150,000部

・「これだけは知っておきたい エイズと職場」 150,000部

・「海外旅行へ旅行する人のために～ HIV&AIDS」 150,000部

⑤国連合同エイズ計画（UNAIDS）発行の冊子の翻訳と配布

UNAIDS発行の冊子を、その許諾の下で邦語に翻訳・発行し、エイズ治療拠点病院、都道府県エイズ担当課等に配布するとともに、API-Netに公開した。

冊子名：「UNAIDS WORLD AIDS DAY REPORT 2011」（「UNAIDS世界エイズデーレポート2011年版」）

部 数：2,000部

(11) ボランティア指導者育成事業（公3・人材育成事業）

エイズNGO活動におけるリーダー養成のため、NGO指導者研修会を開催した。平成23年度は、前年度に引き続きNGO活動の継続に不可欠な資金調達のノウハウ習得に重点

を置いた。

なお、各NGOの相互理解と情報共有を図るため、プログラムの一部は通訳研修会（相談員養成研修事業）と合同で実施した。

実施日：平成24年1月28日（土）～29日（日）

場 所：セミナーハウス クロス・ウェーブ東中野（東京都・中野区）

参加者：21人

(12) 相談員養成研修事業（公3・人材育成事業）

HIV感染症・エイズに関する相談体制の質の向上、量的充実を図るため、相談員養成研修会を実施した。

① 検査相談研修会

目 的：最近のHIV検査の動向や対応ポイント等について学ぶとともに、実際の検査時対応の基本演習を行う。

対 象：HIV検査相談業務に携わる保健所・保健センター・クリニックを含む医療機関その他の機関の担当者

実施日：東京 平成23年9月1日（木）～2日（金）

大阪 平成23年9月29日（木）～30日（金）

場 所：東京 家の光会館・飯田橋レインボービル（東京都新宿区）

大阪 大阪医療センター災害医療棟研修室（大阪府中央区）

参加者：東京 78人

大阪 80人

② 通訳とHIV感染症研修会

目 的：HIVに関する医療や福祉制度、HIV通訳の特徴や留意点等を学ぶ。

対 象：外国籍HIV感染者や家族への通訳の支援活動を行う者

実施日：平成24年1月28日（土）～29日（日）

場 所：セミナーハウス クロス・ウェーブ東中野（東京都中野区）

参加者：28人

3 同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業

（厚生労働省委託事業、公1・普及啓発事業）

我が国における、近年のHIV感染者及びエイズ患者の発生動向を踏まえ、後天性免疫不

全症候群に関する特定感染症予防指針に基づき、個別施策層である同性愛者等に対して、NGO等による当事者性のある活動を支援することにより、エイズに関する正しい知識の普及等を推進するため、以下の事業を実施した。

(1) 同性愛者等の HIV に関する相談・支援事業推進協議会の設置

同性愛者等の HIV に関する相談・支援事業を効果的・効率的に推進するためには、一つのコミュニティセンターが単独で事業を行うのではなく、他のセンター及び厚生労働省エイズ対策研究事業「MSMのHIV感染対策の企画、実施、評価の体制整備に関する研究班」(研究代表者 市川誠一)との協調・協働が重要である。そのため、研究者等による推進協議会を設置し、事業活動方針の協議や事業の評価の協議会を4回開催した。

委員：生島嗣(ふれいす東京)／市川誠一(名古屋市立大学)／伊藤俊広(仙台医療センター)／内海眞(東名古屋病院)／鬼塚哲郎(京都産業大学/MASH大阪)／健山正男(琉球大学大学院医学研究科)／山本政弘(九州医療センター)

①開催日：平成23年6月16日(木) 16:00～18:00

場 所：結核予防会会議室(東京都千代田区)

議題等：平成23年度非常勤職員雇用について、平成23年度事業計画・予算について

②開催日：平成23年12月28日(水)

方 法：書面表決

議題等：平成23年度非常勤職員の採用について

③開催日：平成24年1月22日(日) 12:20～13:30

場 所：早稲田奉仕園(東京都新宿区)

議題等：平成23年度事業報告(中間)、平成24年度事業計画・予算について、平成24年度非常勤職員の雇用について

④開催日：平成24年3月25日(日) 11:30～15:00

場 所：結核予防会会議室(東京都千代田区)

議題等：平成24年度同性愛者等の HIV に関する相談・支援事業 企画・一般競争について、平成24年度非常勤職員待遇について、平成24年度事業計画・予算について

(2) コミュニティセンターの設置・運営等

仙台市青葉区国分町、東京都新宿区新宿2丁目、名古屋市中区栄、大阪市北区堂山町、福岡県福岡市博多区、沖縄県那覇市壺屋の6地域において、同性愛者等に対し HIV 感染

症・エイズに関する情報提供を行うためのコミュニティセンターの設置、運営を行った。

①地域ボランティア団体（CBO）による運営

センターの運営は、上記研究班においてコミュニティベースの啓発活動の実績を示してきた、地域の男性同性愛者で構成する地域ボランティア団体（CBO）の協力を得、同性愛者等に訴求性のある効果的な啓発活動を推進するとともに、CBO 連携会議を 8 回開催し、情報共有や意見交換を行った。

コミュニティセンターの機能としては、

- ア) ゲイ・コミュニティにアクセスする人々や、その他の MSM が自由に立ち寄ることができ、セクシャルヘルスに必要な情報やコミュニティの情報を持ち帰ることができる場所とした。（啓発資材の収集・提供、コミュニティ情報の収集・提供、情報収集のためのインターネット利用の提供など）
- イ) HIV 感染症・AIDS 予防啓発を行うための資材（フリーペーパーやコンドーム）の作成・配布を行った。
- ウ) HIV 感染症・AIDS、セクシャルヘルスの情報発信を目的とした交流会・勉強会・研修会等の実施を行った。
- エ) 地域の HIV 感染症・AIDS の状況をゲイ・コミュニティ等へ還元する成果報告の会場として活用した。
- オ) 地域のゲイ・コミュニティを活性化するための会場提供を行った。
- カ) セクシャリティや性、STI/HIV などに取り組む他の関連機関との協働、連携の拠点として機能させた。

②HIV 感染症・エイズ予防啓発のための資材作成及び配布

同性愛者等のセクシュアルマイノリティや HIV 感染者に対する偏見・差別に、地域によって異なった背景があるため、対象地域の特性に配慮しつつ、訴求性のあるものとし、普及を図った。また、同性愛者等の社会においても既に HIV 陽性者が多く存在することからその点に配慮した。

③同性愛者等における HIV 感染症・エイズ予防・支援のための研修会の実施

地域の同性愛者等に対する偏見や差別をなくすこと、また、同性愛者等に対する相談、検査、医療を当事者が安心して受けられる環境を構築するため、教育、保健医療従事者、自治体職員等を対象に、研修会を実施した。

④同性愛者等向け HIV 検査相談の推進

コミュニティセンター周辺において、公的検査機関や STD 等のクリニックと連携するなど、同性愛者等が利用しやすい HIV 検査環境を整え、資材提供や、ホームペ

ージ上で、これらを活用した HIV 検査相談を促進するキャンペーン等を実施した。

⑤その他の事業

本事業は、同性愛者等を対象としている商業施設が集積する地域において啓発活動を行う拠点を設置するものであり、各種施設や企画イベントと連携することで、より一層の効果が期待されるため、6 地域で活用できるコミュニティセンター案内パンフレットや、検査促進のための冊子を作成、配布した。また、商業施設を中心としたコミュニティに出入りすることのない同性愛者等に対しても、啓発イベント及びインターネット、各種メディア等を通じて啓発普及を図った。

(1) 件 名：センター案内パンフレットの発行

冊 数：5,000部

内 容：センターの紹介を目的としたパンフレット

(2) 件 名：冊子「受けましょうHIV検査」の発行

冊 数：30,000部

内 容：HIV検査受検促進を目的としたパンフレット

(3) 件 名：第15回レインボーマーチ札幌への協賛

日 時：平成23年9月18日（日）

内 容：広告掲載による協賛

(4) 件 名：ゲイ雑誌「バディ」1月号での広報

発行日：平成23年11月21日発行

内 容：センターの紹介を目的とした広告掲載

(5) 件 名：第25回日本エイズ学会学術集会・総会での広報

会 期：平成23年11月30日（水）～12月2日（金）

場 所：ハイアットリージェンシー東京（東京都新宿区）

内 容：ブース出展による啓発活動

(3) 同性愛者等向け電話相談事業等

①陽性者向け電話相談「HIV サポートライン関西」の運営

関西で生活する HIV 陽性とわかった人たちが、日常生活や医療などについて、いつでも相談でき、安心してサポートを利用できる環境をつくるため、「HIV サポートライン関西」を組織し、電話相談、新陽性者を対象とした支援を行った。特に、HIV 感染者に占める割合が高い同性愛者等については、既存の NGO 等の支援サービスと連携をしながら支援環境の向上を図った。

相談にあたっては常設コールセンターを設置するとともに、正確な情報を適切に伝えられるよう常にスーパーバイズできる体制を確保し、当事者・感染者等のプライバシーの保護に十分配慮するとともに、定例ケースカンファレンスを毎月第1火曜日に行い、情報共有を行った。

相談実施時間：毎週水曜日 19:00～21:00（平成24年1月より毎週月曜日も追加）

相談実施回数：60回（120時間）

相談利用者内訳：47件（陽性者本人22件、スクリーニング陽性本人7件、陽性者のパートナー・家族・友人5件、その他感染不安者等13件）

②グループプログラム「ひよっこクラブ」の運営

HIV陽性者への社会的支援として電話相談事業に加え、HIV陽性とわかって間もない人のためのグループプログラム「ひよっこクラブ」を組織し、適切な時期に適切な支援が行えるよう努めた。安定した運営のため、人材育成にも力を入れた。

ひよっこクラブは、HIV陽性と知って半年以内の人を対象とした全3回の少人数グループミーティングであり、陽性者であるスタッフと対人援助専門スタッフがペアで進行を担当する。2回目に医療情報セッションを医師が担当し、每期後にスタッフ振り返りミーティングを行った。

開催回数：3期開催

（第1期）1回目：平成23年6月25日（土）14:00～16:00

2回目：平成23年7月9日（土）14:00～16:30

3回目：平成23年7月23日（土）14:00～16:30

参加者：4名

（第2期）1回目：平成23年10月1日（土）14:00～16:00

2回目：平成23年10月15日（土）14:00～16:30

3回目：平成23年10月29日（土）14:00～16:30

参加者：5名

（第3期）1回目：平成24年1月29日（日）14:00～16:00

2回目：平成24年2月12日（日）14:00～16:30

3回目：平成24年2月26日（日）14:00～16:30

参加者：4名

4 エイズ対策研究推進事業（厚生労働科学研究費補助金）

（1）エイズ対策研究推進事業運営委員会

日 時：平成24年2月22日（水）13時00分～15時00分

会 場：結核予防会会議室

内 容：平成24年度事業応募申請の採択等について

委 員：（◎は委員長）

◎吉倉 廣 国立感染症研究所名誉所員

石川信克 （公財）結核予防会結核研究所所長

金井 要 （独）国立国際医療研究センター国際協力部長

富澤一郎 国立感染症研究所企画調整主幹

永井美之 （独）理化学研究所新興・再興感染症ネットワーク推進センター長

中村安秀 （国）大阪大学大学院人間科学研究科教授

（2）外国人研究者招へい事業（公2・助成事業）

・招へい人数 2名

・招へい内訳（国別） ガーナ共和国 1名 オーストラリア 1名

（3）外国への日本人研究者派遣事業（公2・助成事業）

・派遣人数 1名

・派遣内訳（国別） 英国 1名

（4）外国の研究機関等への委託事業（公2・助成事業）

・委託件数 1件

・委託内訳（国別） タイ 1件

（5）若手研究者育成活用事業（リサーチ・レジデント）（公2・助成事業）

・人数 59名

国立感染症研究所等研究機関（10機関） 15名

ブロック拠点病院等（10機関） 44名

(6) 研究成果等普及啓発事業 (公1・普及啓発事業)

・研究成果発表会 開催回数 1回

件名：講演会・シンポジウム「AIDS at 30 (エイズの発見から30年)」

日時：平成23年12月3日(土曜日) 午後1時25分～4時45分

会場：UDXシアター 東京都千代田区外神田4-14-1

内容：講演1「HIV感染症・エイズの状況」

講演2「エイズ予防のための戦略研究報告」

シンポジウム「HIV感染症・エイズ研究30年の進歩と今後の展望」

参加者数：95名

5 その他事業

出版社等の発行する小冊子、リーフレット等の監修を行い、監修名義を付与した。

自治体・企業・団体等が主催するHIV感染症／エイズに関する講演会、チャリティイベント等に後援名義を付与した。

東京都立両国高等学校附属中学校の職業体験学習施設として、2学年5名の生徒を受け入れた。HIV／エイズに関する正しい知識の学習とともに、「世界エイズデー」イベント・渋谷街頭キャンペーンの配布用啓発グッズの封入作業を体験した。平成23年11月8日(火)～10日(木)。

Ⅱ 管理部 門

1 理事会

(1) 第1回理事会

日 時：平成23年5月11日（水）16時00分～17時45分

会 場：エイズ予防財団会議室

議 案：理事長の選定について／理事会の運営方法について（「理事会運営規則」制定の件）／今後のエイズ予防財団の運営方針について／日本エイズストップ基金について／その他 エイズ対策研究推進事業補助金の返還について

(2) 第2回理事会（書面表決）

書面表決の日：平成23年6月1日（水）

方 法：一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の規定に基づき、書面表決

議 案：評議員会招集の件

(3) 第3回理事会

日 時：平成23年6月24日（金）16時00分～17時50分

会 場：結核予防会会議室

議 案：平成22年度事業報告及び財務諸表の件／基本財産の指定の件／諸規程の制定の件／日本エイズストップ基金平成23年度助成の件／代表理事の選定の件／理事長の選定

(4) 第4回理事会

日 時：平成23年9月22日（金）13時00分～15時30分

会 場：エイズ予防財団会議室

議 案：助成金交付規程制定の件／日本エイズストップ基金について

報告事項：(1)第3回理事会（平成23年6月24日）以降の職務執行の状況 (2)平成23年度上半期財務の状況(3)平成23年度下期の活動計画

(5) 第5回理事会

日 時：平成24年1月20日（金）11時00分～12時30分

会 場：エイズ予防財団会議室

議 案：平成24年度事業計画・予算編成方針について

報告事項：(1)第4回理事会（平成23年9月22日）以降の職務執行の状況 (2)平成23年度上期財務の状況(3)平成23年度下期の活動計画

(6) 第6回理事会

日 時：平成24年3月29日（木）15時00分～16時45分

会 場：エイズ予防財団会議室

議 案：平成24年度事業計画・収支予算の承認の件／平成24年エイズ予防財団助成
事業の公募の件／エイズ予防財団利益相反管理規程制定の件

報告事項：(1)第5回理事会（平成24年1月20日）以降の職務執行の状況

2 評議員会

(1) 第1回評議員会

日 時：平成23年6月27日（月）15時30分～16時50分

会 場：結核予防会会議室

議 案：評議員会運営規則の制定の件／議長の互選の件／議事録署名人の選出の件
／平成22年度事業報告及び財務諸表の件／理事の選任の件

報告事項：理事会の開催状況等について